

街を行く

第53回 ニューヨーク(その3) New York

斬新なものも、溶け込む大人の街

私ども(JAA)はこのたび、ニューヨークに事務所を開設することになりました。新事務所では、日米両国にまたがり国を超える投資家の資産形成をお手伝いしていきます。本連載でニューヨークを訪ね紹介するのはこれで3回目ですが、今後はもっと頻繁に訪れて街の旬な情報をお届けしていきたいと思っています。NYは街の情報をタイムリーにお届けする価値が大きいところ。なぜならば、街の変化するスピードがとても速いから。1年前のことはひと昔と言っても大きすぎないくらいに動きがダイナミックになっています。

さて、今回紹介していく1つはアップルストアです。5番街、セントラルパーク・サウスに面した、世界的に有名な老舗おもちゃ屋「FO シュワルツ」が営業しているビルの地下にあります。ストア自体は世界中の主要都市の中心部に存在していますが、地下にあるのはここだけでしょう。玄関の回転扉をくぐると螺旋階段があり、利用者は店の中を見渡しながらフロアへ降りていくことになります。わくわくする気持ちをかき立てる心憎い演出です。小生がこの店に訪れたのは夜の10時過ぎ頃でしたが、まだ店内は多くの人で賑わっていました。世界中からお客さんが集まるのはNYの特色ですが、大人も子供も多かったことが印象的でした。

もう1つ紹介するのは、57丁目のウエストに出現した超高層のコンドミニウム(分譲マンション)です。高層ビルは周りに沢山ありますが、このコンドミニウムの建物は鉛筆のように細いところが珍しいです。マンハッタンの地盤は強固で地震に強いと



世界じゅうにあるアップルストアでも地下にあるのは珍しい(上)。ちょっと揺れたら折れそう。細い鉛筆みたいな高級コンドミニウムタワー(左)。

いわれますが、ちょっと揺れたら折れるのではと少しびびってしまいます。こんな斬新なデザインのビルが周りの環境にうまく溶け込むのは、この街の凄さでしょうね。実は周囲にはカーネギーホールなど古い歴史的建造物が多いのですが、あまり違和感がありません。古いデザインと新しい斬新的なデザインが調和しお互いを引き立たせている感じです。大人の街づくり骨頂と言えるかも知れません。世界の人が集まる大都市の超高層マンションですから、当然値段は相当なものでしょう。世界中のセレブはお土産を買うような感覚でユニット

を買って行くのかもしれませんが、まあ、縁のない話です!

南 一 弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役役に就任。